

【地域通貨について】

知事： そして「地域通貨」について。これは非常に面白いですね。これはモデルは何を  
考えましたか？ 「ですか」がモデルになっている？ それとも、それぞれの地域共  
通の商品券とかそういうのですか？

生徒： 最初は普通に1千円札とか5千円札のように、お札の形で作りたいと思っていま  
したが、「ですか」というカードができていたので、それを有効利用できたらいいなと  
思って、カードにしました。

知事： これターゲットは県内の人ですか、それとも観光客の皆さんですか。

生徒： 今のところは県内の人に使ってほしいなと思います。

知事： 県内の人に使ってもらうのは面白いかもしれません。「ですか」を始めてから、土  
電の乗客数が増えたいらしいです。あれを地域の商店街で使えるようにし、ポイントと  
か付くようにできないかというお話もあります。だけど、それをやるには、ここでデ  
メリットとあったように初期費用などもかかるので、まだ最終的な結論は出ないでい  
ます。だけど、高知県で地域の通貨を作るのは、2つの意味において面白いと思いま  
す。

1つは地域通貨を使い、地元で物を買ってもらうことで地域を元気にできるのでは  
ないかと思います。結果、中心商店街を元気にすることができればいいと思います。

もう1つは、いわゆるクラブ会員や仲間をつくることができるかもしれないという  
点です。地域通貨を商品券ではなくカード方式にすることで、誰が登録してくださっ  
ているかって分かることができれば、その地域の商店街のイベントの情報をお送りす  
ることができるようになるかもしれません。うまく他のツールやシステムを組み合わせ  
ることができれば、いろんなことができるのではないのでしょうか。

この地域通貨は、中心商店街を元気にするっていうだけではなくて、観光客の皆さん  
にも使ってもらったり、それから例えばアンテナショップへいらっしゃった方たちに  
このカードを使ってもらったりなど、高知県が好きだという人のためのカードみたいな  
ものを作って仲間にしていくという、そういうやり方もあるかもしれませんね。いろ  
いろ可能性は広がってくると思います。

最後にゴレンジャー。緑と、ブルーは鯉で、レッドははりまや橋で帽子パン。イエ  
ローがゆずで、ピンクがすまきですか？

生徒： はい。

知事： 帽子パンは県外でもものすごく売れているのを知っていますか？

生徒： はい、有名ですよ。

知事： 帽子パンは、県産品フェアで東京へ持って行ってものすごく売れるんですよ。東  
京の丸ビルに持って行って売ったときも、全部午前中に売り切れたりとか、大人気な  
んだそうです。そういうものを買ってくれた人に、あのカード渡して、その人にポイ  
ントを付けて、今度高知に来てくれたときには、ここで何かを安く買えますよとかや

ったりすると、いい仲間作りができるかもしれませんよね。

いずれも、今日のアイデアは面白いと思いました。何かの形で出さしていただければと思いました。